



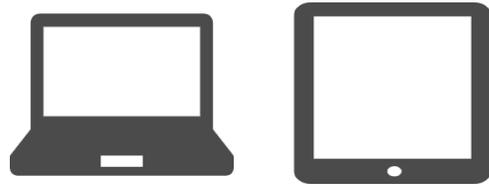
「GIGAスクール対応」～「校務情報セキュリティ」まで 導入事例を踏まえたご紹介

株式会社ソリトンシステムズ

GIGAスクール構想の実現に向けて



□ 1人1台端末整備



終盤をむかえる

…のはず

□ 校内インフラ整備



ほぼ完了状態

GIGAスクール構想による学校ネットワークの変化

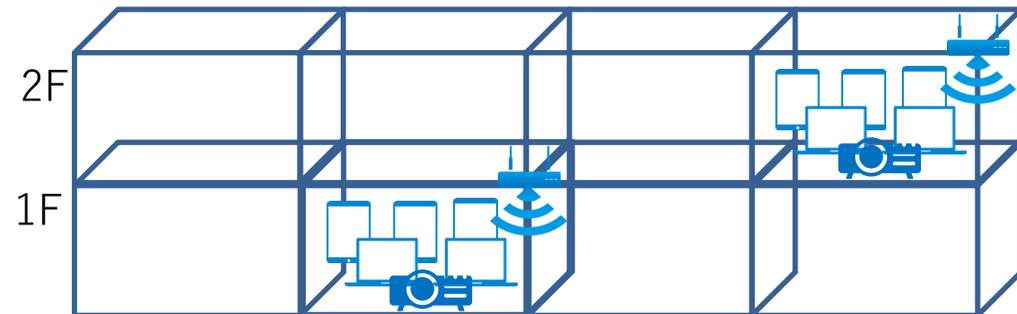


GIGAスクール構想で学校内の端末利用とネットワークはどう変化するか

これまでは

端末利用は一部の生徒のみ

無線LAN環境はPC教室のみでもOK



同時利用する生徒も少なく

併用ネットワーク機器
(無線APなど)

でも動作は可能

GIGAスクール構想による学校ネットワークの変化

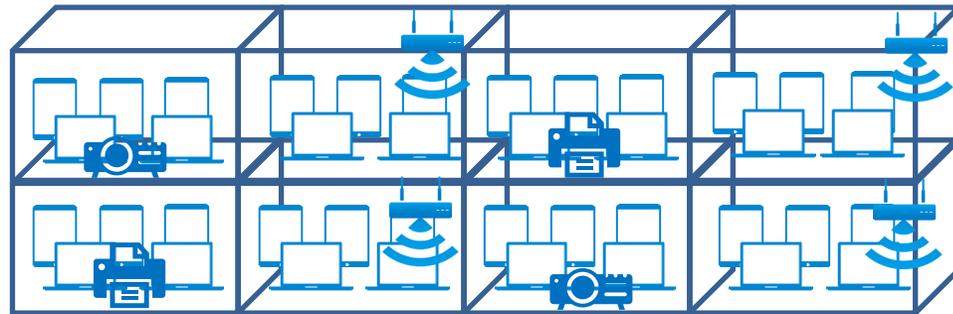


GIGAスクール構想で学校内の端末利用とネットワークはどう変化するか

これからは

全生徒1人1台の端末利用 + 同時接続
全教室での無線LAN環境

つながるのが「**当たり前**」



予算の関係でDHCP機能は
スイッチや無線APと兼務





授業を止めないソリューション

GIGAモデルをリリース

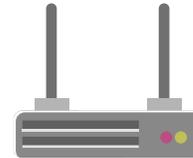
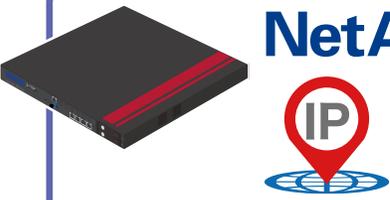
無線LAN認証装置

NetAttest EPS
証明書認証
MACアドレス認証



DHCPの安定稼働

NetAttest D3
IP払い出し



無線アクセスポイント



正規ユーザー



正規ユーザー

不正

導入実績数
280団体以上



導入事例のご紹介

某政令指定都市
小中学校 200校以上

MACアドレス認証
「個別配置構成」

導入製品

NetAttest EPS

EPS-SX GIGAモデル

240台

某市(人口約10万)
小中学校 20校

電子証明書認証
「分散配置・統合管理構成」

導入製品

NetAttest EPS

EPS-ST GIGAモデル **20**台

EPS-DX アカデミック **1**台

某政令指定都市
小中学校 200校以上

DHCP専用機
「個別配置構成」

導入製品

NetAttest D3

D3-SX GIGAモデル

220台

某市(人口約8万)
小中学校 25校

電子証明書認証
「統合管理構成」
DHCP専用機
「個別配置構成」

導入製品

NetAttest EPS

EPS-DX アカデミック **2**台

NetAttest D3

D3-SX GIGAモデル(冗長) **25**セット

某市(人口約15万)
小中学校 41校

電子証明書認証
「統合管理構成」
DHCP専用機
「個別配置構成」

導入製品

NetAttest EPS

EPS-DX アカデミック **2**台

NetAttest D3

D3-SX GIGAモデル **11**セット

某区(人口約52万)
小中学校 70校

電子証明書認証
「統合管理構成」
DHCP専用機
「統合管理構成」

導入製品

NetAttest EPS

EPS-DX アカデミック **2**台

NetAttest D3

D3-ST アカデミック(冗長) **2**セット



校務情報のセキュリティ強化も



教育のICT化に向けた環境整備5か年計画（2018～2022年度）

新学習指導要領においては、情報活用能力が、言語能力、問題発見・解決能力等と同様に「学習の基盤となる資質・能力」と位置付けられ、「各学校において、コンピュータや情報通信ネットワークなどの情報手段を活用するために必要な環境を整え、これらを適切に活用した学習活動の充実を図る」ことが明記されるとともに、小学校においては、プログラミング教育が必修化されるなど、今後の学習活動において、積極的にICTを活用することが想定されています。

このため、文部科学省では、新学習指導要領の実施を見据え「2018年度以降の学校におけるICT環境の整備方針」を取りまとめるとともに、当該整備方針を踏まえ「教育のICT化に向けた環境整備5か年計画（2018～2022年度）」を策定しました。また、このために必要な経費については、**2018～2022年度まで単年度1,805億円の地方財政措置を講じる**こととされています。

目標としている水準と財政措置額

- **学習者用コンピュータ** 3クラスに1クラス分程度整備
 - **指導者用コンピュータ** 授業を担当する教師1人1台
 - **大型提示装置・実物投影機** 100%整備
各普通教室1台、特別教室用として6台
(実物投影機は、整備実施を踏まえ、小学校及び特別支援学校に整備)
 - **超高速インターネット及び無線LAN** 100%整備
 - **統合型校務支援システム** 100%整備
 - **ICT支援員** 4校に1人配置
 - 上記のほか、学習用ツール^(※)、予備用学習者用コンピュータ、充電保管庫、学習用サーバ、校務用サーバ、校務用コンピュータやセキュリティに関するソフトウェアについても整備
- (※) ワープロソフトや表計算ソフト、プレゼンテーションソフトなどをはじめとする各教科等の学習活動に共通で必要なソフトウェア

・1日1コマ分程度、児童生徒が1人1台環境で学習できる環境の実現



標準的な1校当たりの財政措置額

都道府県	高等学校費	434 万円 (生徒642人程度)
	特別支援学校費	573 万円 (35学級)
市町村	小学校費	622 万円 (18学級)
	中学校費	595 万円 (15学級)

※上記は平成30年度基準財政需要額算定における標準的な所要額（単年度）を試算したものです。各自治体における実際の算定に当たっては、様々な補正があります。

GIGAスクール構想にて実施



授業・業務を止めてはいけません



安心できるインフラ環境を

お問い合わせ 公共担当 : pubcon@list.soliton.co.jp まで